

種子屋久農協花き振興会 視察研修を実施

種子屋久農協花き振興会は11月9日、東京都八丈島で熊毛支庁主催の視察研修に参 加しました。現在、熊毛支庁と合同でより導入しやすい安価なビニールハウスの実証を 進めていますが、同じく台風常襲地帯でありハウス施設の導入が進んでいる八丈島での ハウスの構造や管理を視察し、あわせて新規就農者の育成支援やJAの集出荷体制につ いても視察を行いました。八丈島では、町の研修施設で4年間の研修を受けながら施設 導入や栽培開始ができ、経営が軌道に乗った状態で本格的に就農開始できるという新規 就農支援の体制が構築されています。

また、大田花き市場も視察し、普段見ることのない市場での着荷や流通の様子を確認 することで、改めて梱包作業の平準化や選別基準の均一化などの課題を認識しました。





ヒサカキ出荷説明会および目揃え会を開催

種子屋久農協は花き振興会と合同で、11月14日に長谷集荷場にてヒサカキの出荷説明 会および目揃え会を開催しました。花きを担当している橋元指導員より出荷要領等の説明が された後、指導林家でもある種子島しきみ生産組合組合長の古市道則さんより、ヒサカキの 出荷や「くくり」を行うにあたっての注意点についての説明もありました。その後、生産者 が持ち寄ったヒサカキを用いて実際に「くくり」を作る研修も行いました。

今回は、これまでJAではなく個人で出荷を行っていた生産者も参加して、共同出荷によ り出荷先へ安定した量を供給できることや農協特例の活用にインボイス登録が不要なことな ど、共販の仕組みについても理解を深めました。





